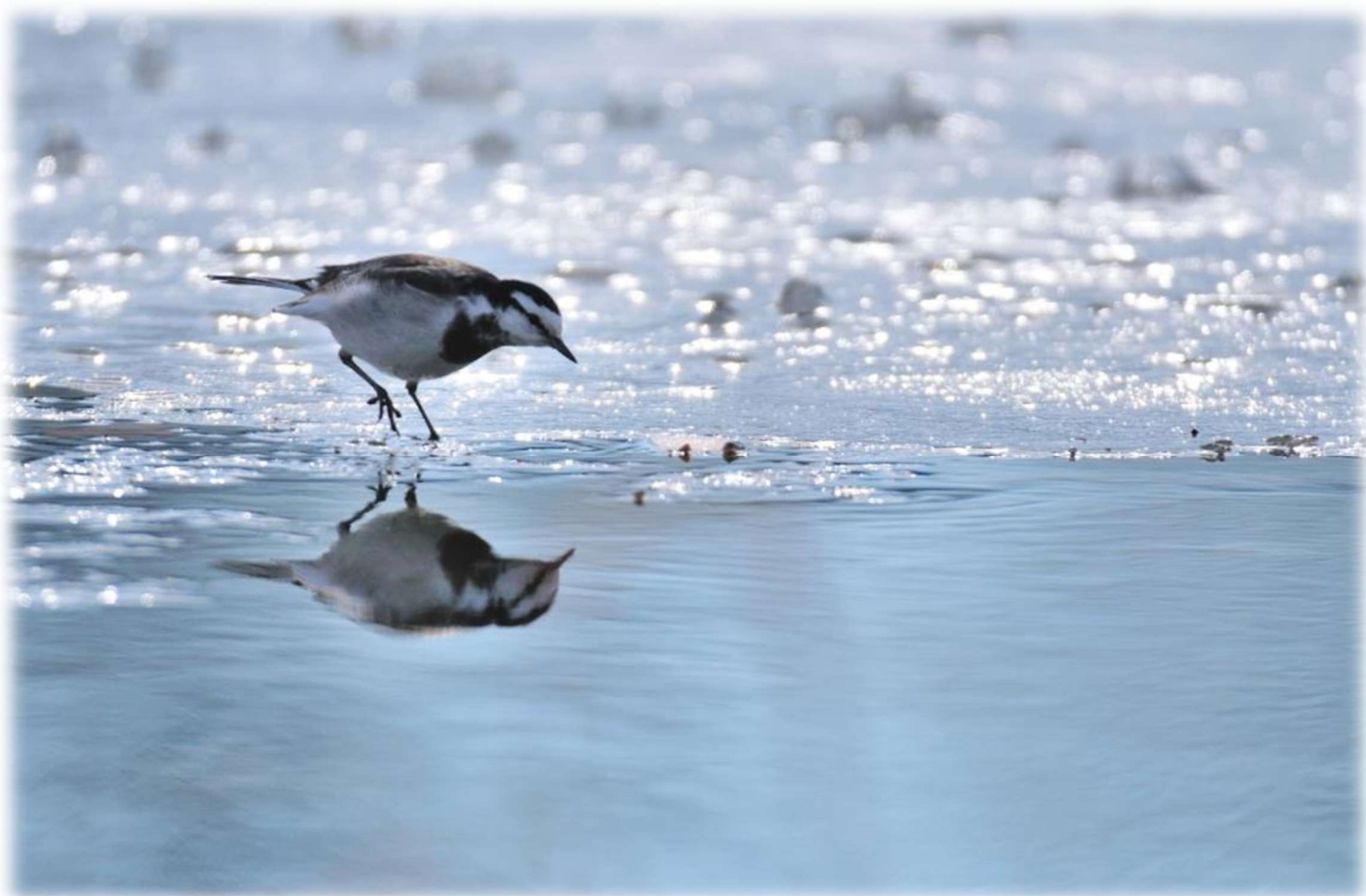


2019年度 環境報告書

対象期間：2019年4月～2020年3月



株式会社 **サントリー**

2020年7月1日発行



目 次

1. 会社概要
2. 環境組織図
3. 売上高推移
4. 事業の種類別売上状況
5. 主要製品
6. 環境マネジメントシステム
7. ISO14001認証取得
8. 法令及びその他要求事項への対応
9. 該当法規制の遵守
10. 環境目標の達成状況
11. 環境計画内容及びエネルギー使用合理化
12. 環境保全活動

◆環境方針◆

当社は2008年から「環境報告書」を作成しております。

環境スローガン『環境負荷を低減し地球にやさしいもの造りを目指そう』を合言葉に、ISO14001の環境活動の活動データに基づき作成しております。

- ・対象範囲

本社サイト、堀金工場サイト、三田工場サイト、福岡耳納工場サイト

- ・対象期間

2019年4月1日～2020年3月31日

- ・参考にしたガイドライン

環境省「環境報告ガイドライン（2018年度版）」

1.会社概要



- 会社名 株式会社サンコー
- 代表者 代表取締役社長 竹村 潔
- 事業内容 自動車関連製品、事務機関連製品、デジタル家電関連製品に関するプレス製品、メカトロ製品及びプラスチック製品の製造販売
- 事業所 本社／〒399-0782 長野県塩尻市広丘野村959番地
工場／堀金工場、三田工場、福岡耳納工場



◆ごあいさつ◆

私ども、株式会社サンコーは、1963年創業以来、部品加工からコア部品加工まで世の中の変化に応じ、活躍のフィールドを広げて参りました。

そして、お客様が求めるものづくりを通して信用関係を築き、必要性を認められる存在になりました。これからも、製造業を通して、世の中に貢献出来る企業でありたいと考えています。

さて、昨今の環境問題に目を向けると深刻さが増加してきております。例えば、地球温暖化により、南極などの氷が溶け、海面の水位が上昇し海拔の低い土地が水没してしまう恐れや、集中豪雨による河川の決壊などで、水害が多発しております。

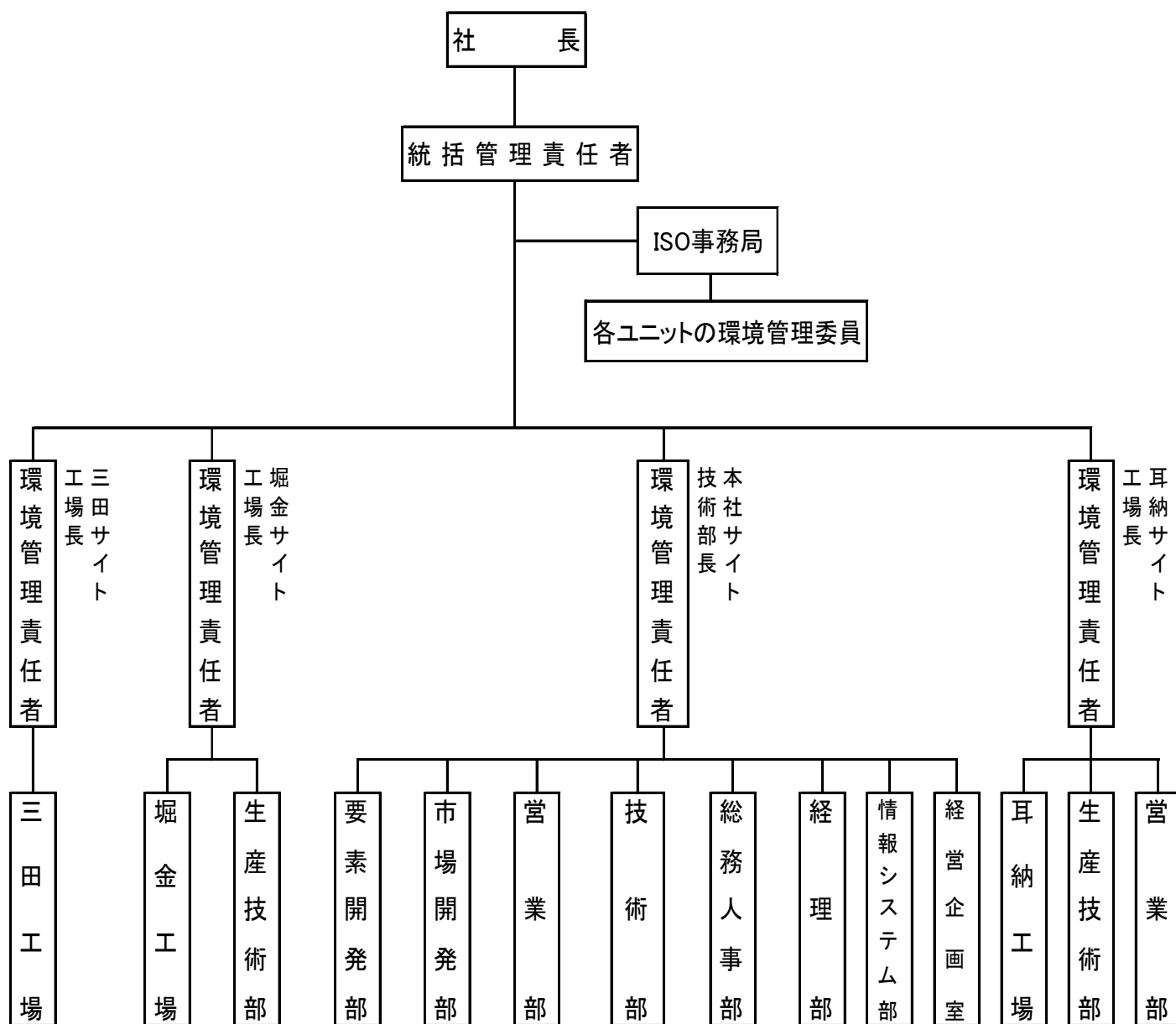
当社では、ISO14001を2004年に全工場で認証取得し、環境負荷を低減させたものづくりを推進しております。

本システムに基づく環境活動サイクルを有効に活用することで、環境負荷低減をはじめとする業務活動に対し、着実に成果が出ていると考えております。

本報告書は、当社の環境活動への取り組みについて主要な内容をまとめたものであり、ご高覧いただき当社の事業活動にご理解を賜れば幸いです。

2020年7月
代表取締役 竹村 潔

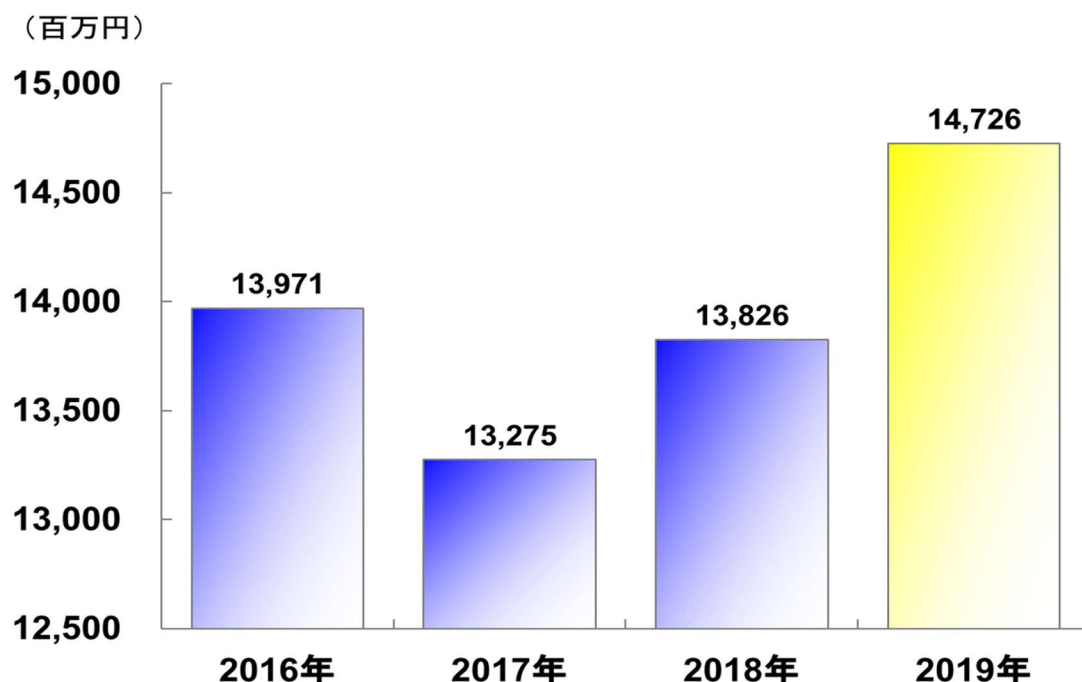
2.環境組織図



3.売上高推移（連結）

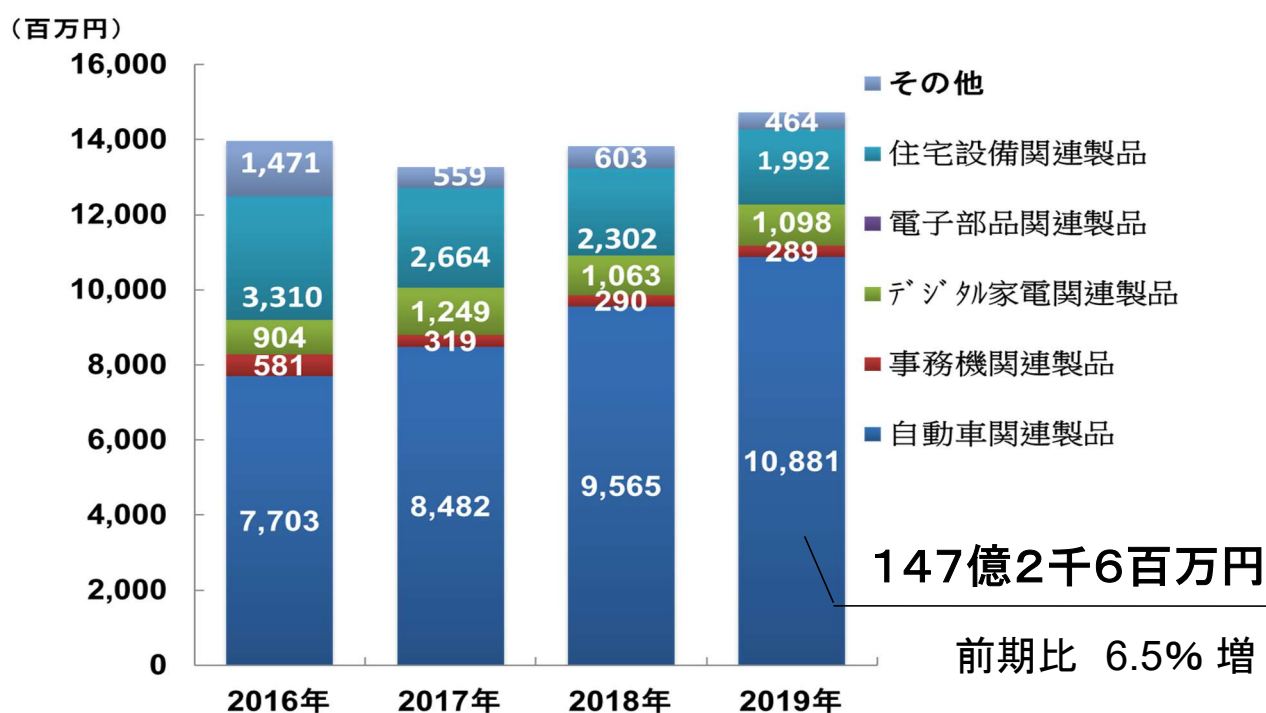


当期の売上高は147億2,600万円、営業利益は5億4,400万円となりました。



4.事業の種類別売上状況（連結）

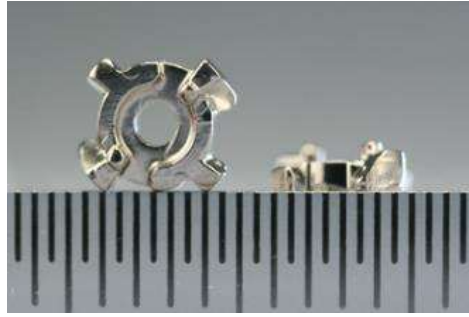
主力製品である自動車関連製品及びデジタル家電関連製品の売上は増加していますが、住宅設備関連製品及び事務機関連製品は市場の縮小に伴い減少しています。



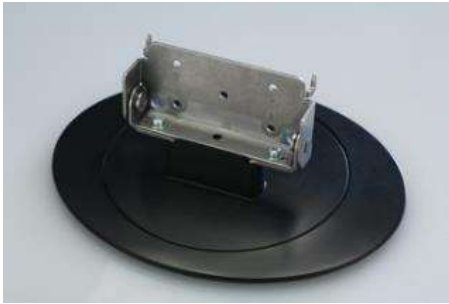
5.主要製品



プレス製品



ヒンジ製品



プラスチック製品



複合製品



6.環境マネジメントシステム



〈環境スローガン〉

環境負荷を低減し、地球にやさしいもの造りを目指そう。

〈基本理念〉

私たちは、地球環境保全を企業の使命の一つと自覚し、地域社会と調和を保ちながら、「環境にやさしいものづくり」に対して常に努力し、「持続可能な発展」の国際理念のもと、循環型社会の構築に貢献していきます。

〈環境方針〉

当社は、基本理念に基づき次の方針を定め、地球にやさしい企業を目指します。

1. 次の3項目を中心に、環境マネジメントシステムの継続的改善を図ります。
 - ① 廃棄物の削減とリサイクル
 - ② 省資源、省エネルギーを考慮した生産
 - ③ 顧客要求の環境関連物質の削減
2. 環境関連法規制及び、その他顧客の要求事項を遵守することにより環境保全に努めます。
3. 全社員及び協力会社は、環境対応の重要性を十分認識し、各部門毎に目標設定し活動します。
4. 取引先・協力会社・地域社会とのコミュニケーション・連帯を図り、環境マネジメントシステムを効果的に推進するため、教育・啓発に努めます。
5. 環境方針はホームページ、会社案内等に掲載することにより、一般の人が入手できるよう必要な情報の共有に努めます。

7. I S O 14001 認証取得



当社では、環境国際規格ISO14001を認証取得しております。

初回登録日 2000年3月23日

有効期限 2021年2月12日

認定範囲分類 基礎金属、加工金属製品 電氣的及び光学的装置
ゴム製品、プラスチック製品



【外部監査】

2019年12月にSGSジャパン株式会社より、品質・環境統合審査を受審いたしました。今回は、維持審査で、本社・堀金工場・三田工場を対象に審査が実施され、環境に関わる不適合はございませんでした。その結果、「ISO9001、ISO14001」の要求事項に適合し、運用され、継続的に改善されている」との評価をいただきました。

【内部監査】

監査の公正・客観性を確保するため、統合内部監査員として資格認定された監査員で監査チームを編成し、内部監査とフォローアップ監査を実施しております。監査結果を経営陣に報告するとともに、被監査部署は指摘事項の是正とシステムの見直しを行っております。

2019年度も全部署で統合内部監査を行い、システム運用に関する重大な指摘事項のないことを確認しております。軽微な指摘事項については各サイト共に速やかな是正処置を行いました。

◆環境関連物質の不使用と削減◆

環境関連物質の使用禁止または削減の管理に関し、電機業界中心のRoHS指令（使用禁止10物質：カドミウム・鉛・水銀・六価クロム・ポリ臭化ジフェニルエーテル・ポリ臭化ビフェニル・フタル酸エステル類4物質）及び自動車業界中心のELV指令（使用禁止4物質：カドミウム・鉛・水銀・六価クロム）に則り、お客様の要請に対応すべく、すべての部品を対象に、新規納入時、または変更納入時に必要なデータを提出しております。それらの物質削減の為の代替案をお客様にご提案すると共に、積極的に不使用に取り組んでおります。また、「REACH」はEUで市場に流通している全ての工業化学物質の登録、評価、認可及び制限に関する規制であり、調査依頼に対して適切に対応しています。

8.法令及びその他要求事項への対応



◆騒音規制法 （単位：dB）

サイト	規制値		実施基準と実施状況	結果	備考
本社工場	6時～8時	-	1回/年 2019年4月5日実施	適正	第3種区域：住居の用に合わせ て商業・工業等の用に供され ている区域
	8時～18時	69			
	18時～21時	-			
	21時～6時	.			
堀金工場	8時～18時	63	2019年10月3日実施	適正	その他の区域：工業地域
	6時～8時	-			
耳納工場	8時～19時	65	1回/年 2019年12月4日実施	適正	久留米市との「環境保全都市 づくり協定書」より
	19時～23時	65			
	23時～6時	55			
三田工場	対象外				その他の区域：工業専用区域

◆振動規制法 （単位：dB）

サイト	規制値		実施基準と実施状況	結果	備考
本社工場	7時～19時	70	1回/4年 2018年3月12日実施 (次回は2022年度に実施予定)	適正	第2種区域：住居・商業・工業等の用に供されている区域で主として工業等の用に供される区域
	19時～7時	65			
堀金工場	7時～19時	65	1回/4年 2019年9月18日実施 (次回は2023年度に実施予定)	適正	
	19時～7時	65			
耳納工場	8時～19時	65	1回/4年 2016年11月16日実施 (次回は2020年度に実施予定)	適正	久留米市との「環境保全都市づくり協定書」より
	19時～8時	60			
三田工場	対象外				その他の区域：工業専用区域

◆水質汚濁防止法（下水）

（単位：mg/ℓ）



サイト	規制値	実施基準と実施状況	結果	備考
本社工場	ジクロロメタン	1回/年 2019年6月27日採取	0.002	
	アンモニア性窒素 -		50	
	亜硝酸性窒素 -		0.31	
	硝酸性窒素 -		0.44	
	アンモニア・アンモニウム化合物 亜硝酸化合物及び硝酸化合物 380		21	
	水素イオン濃度 5～9		8.6	
	生物化学的酸素要求量（BOD） 600		390	
	浮遊物質（SS） 600		88	
	ノルマルヘキサン抽出物質含有量 5		0.5	
堀金工場	ジクロロメタン含有量 0.2	1回/年 2019年6月12日採取	0.036	
	アンモニア性窒素 -		77	
	亜硝酸性窒素 -		0.29	
	硝酸性窒素 -		0.84	
	アンモニア・アンモニウム化合物 亜硝酸化合物及び硝酸化合物 380		32	
	水素イオン濃度 5～9		8.5	
	生物化学的酸素要求量（BOD） 600		210	
	浮遊物質（SS） 600		160	
	ノルマルヘキサン抽出物質含有量 5		2.0	
三田工場	アンモニア性窒素 -	1回/年 2019年6月12日採取	15	
	亜硝酸性窒素 -		0.06	
	硝酸性窒素 -		1.8	
	アンモニア・アンモニウム化合物 亜硝酸化合物及び硝酸化合物 380		7.9	
	水素イオン濃度 5～9		7.6	
	生物化学的酸素要求量（BOD） 600		49	
	浮遊物質（SS） 600		4	
	ノルマルヘキサン抽出物質含有量 5		0.5	
耳納工場	対象外			



◆水質汚濁防止法（雨水）（単位：mg/l）

サイト	規制値	実施基準と実施状況	結果	備考
本社工場	カドミウム及びその化合物 0.1	1 回/年 2020年2月20日採取	0.001	
	鉛及びその化合物 0.1		0.005	
	六価クロム化合物 0.5		0.02	
	ジクロロメタン 0.2		0.002	
	水素イオン濃度 5.8～8.6		6.8	
	生物化学的酸素要求量（BOD） 160		0.9	
	浮遊物質		2	
	ノルマルヘキサン抽出物質含有量 5		0.7	
堀金工場	ノルマルヘキサン抽出物質含有量 5	1回/年 2019年7月18日採取	1	
	ジクロロメタン含有量 0.2		0.02	
耳納工場	対象外			
三田工場				

◆浄化槽法

サイト	規制値	実施基準と実施状況	結果	備考
耳納工場	指定検査機関の検査	1回/年 2020年1月9日実施	適正	
本社工場	対象外（浄化槽なし）			
三田工場				
堀金工場				

◆消防法

サイト	規制値	実施基準と実施状況	結果	備考
堀金工場	地下タンク貯蔵所点検	1回/年 2019年7月23日実施	適正	
本社工場	対象外（タンク無し）			
三田工場				
耳納工場				

9. 該当法規制の遵守



◆PRTR法（化学物質排出移動量の届出）

サイト	実施基準と実施状況	報告先の官公庁
本社工場	1回/年（6/30迄） 2020年6月受理	経済産業省製造産業局 化学物質管理課
堀金工場	1回/年（6/30迄） 2020年6月受理	
三田工場	対象外	
耳納工場		

◆廃棄物の処理及び清掃に関する法律（産業廃棄物管理票交付状況の報告）

サイト	実施基準と実施状況	報告先の官公庁
本社工場	1回/年（6/30迄） 2020年6月受理	松本地方事務所 環境課
堀金工場	1回/年（6/30迄） 2020年6月受理	
三田工場	1回/年（6/30迄） 2020年6月受理	
耳納工場	1回/年（6/30迄） 2020年6月受理	久留米市役所 環境部

◆PCB廃棄物の適正な処理に関する特別措置法（PCB廃棄物保管状況の届出）

サイト	実施基準と実施状況	報告先の官公庁
堀金工場	2019年11月 処分済み	-
その他	対象外	

◆その他、環境法規制

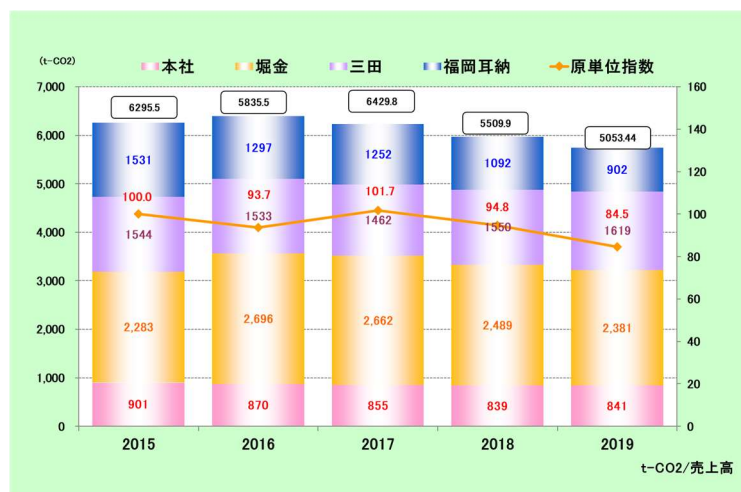
法規制名	適用対象
労働安全衛生法	MSDSの掲示など名称等表示物質、有機溶剤、特定化学物質、ボイラー、フォークリフト
エネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネ法）	事業活動に伴って使用する電気、燃料等の削減
環境基本法、環境情報提供の促進等による特定事業者等の環境に配慮した事業活動の促進に関する法律	事業活動全般、環境報告書の発行
地球温暖化対策に関する法律	事業が集うに伴って使用する電気、燃料等の削減
特定工場における公害防止組織の設備に関する法律	管理者選任
フロンガス排出抑制法	パッケージエアコン冷却機

10.環境目標の達成状況



◆CO₂排出量

2019年度目標値	実績	判定
12%削減	15.5%削減	○

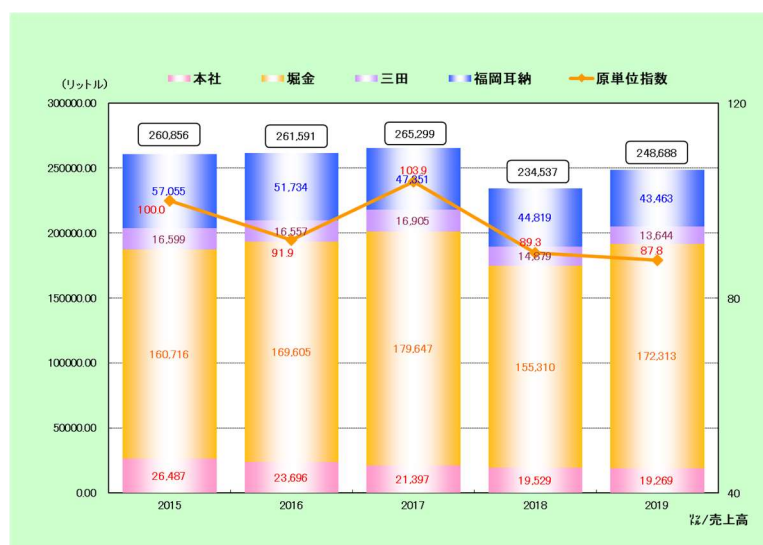


～結果と次年度の取組み～

売上高を原単位指標とし、当社が年度毎に使用した電力、燃料の使用量からCO₂排出量を算出している。基準年である2015年度の原単位を100とし推移をみると、多少の増加する年はあったが、全体比率の大きい電力の低減効果が現れてきており、減少傾向となっている。

◆燃料使用量の推移

2019年度目標値	実績	判定
11.2%削減	12.2%削減	○



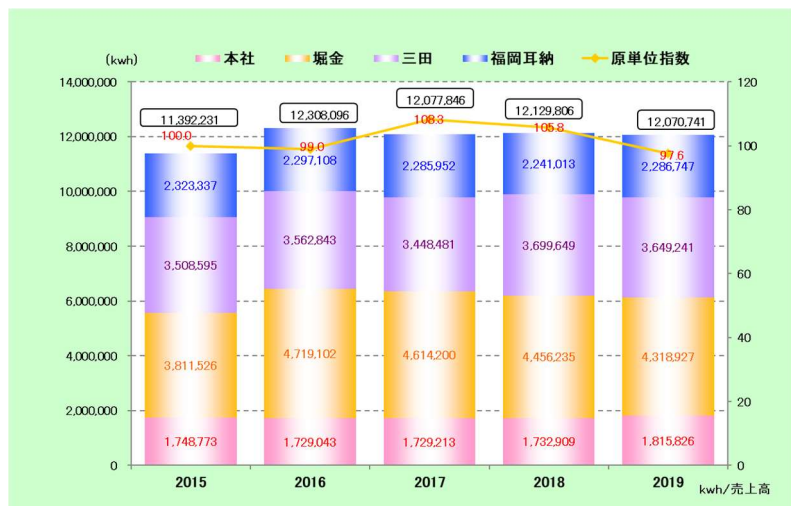
～結果と次年度の取組み～

燃料は全体比率が小さいため総CO₂排出量に対しての効果は少ないが、燃料単体でみると電氣化（省エネ）設備への更新、社有車のHV化、洗浄機のボイラー変更により低減ができています。引き続き電氣化（省エネ）設備への更新、社有車のHV、EV車への切替を推進していく。

◆電気使用量の推移



2019年度目標値	実績	判定
0.8%削減	2.4%削減	◎



～結果と次年度の取組み～

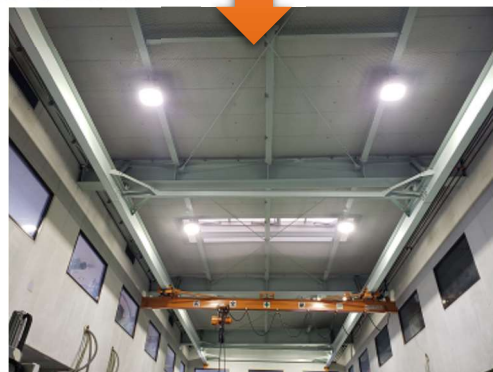
電気は堀金工場、三田工場の照明をLEDに変更、それに加えエアコンを省エネ仕様にした効果が出ており、目標を達成する事ができた。電気の全体比率が大きいいため、総CO2排出量削減の効果が大きくなる。今後も工場照明に加えて事務所のLED化、省エネタイプの設備を導入し更なる低減を図る。

全社 LED化推進中

三田工場（東棟）
BEFORE



AFTER



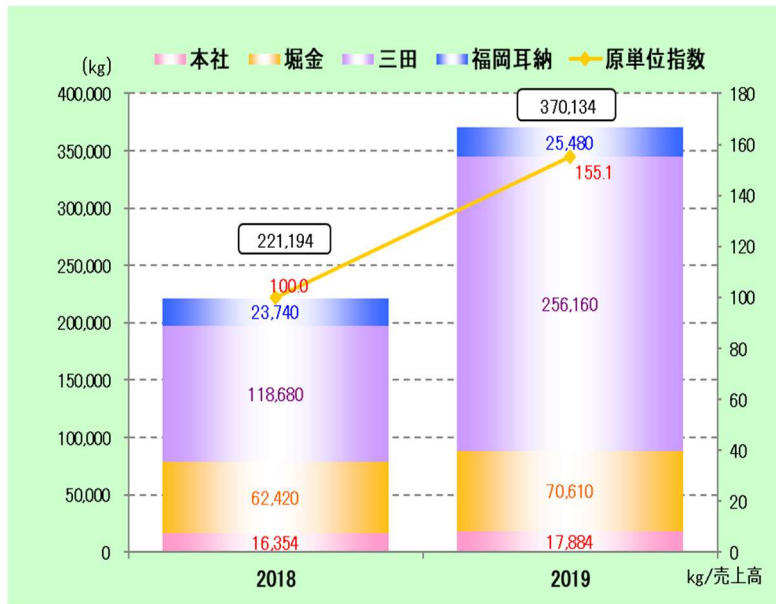
三田新工場（西棟）





◆産業廃棄物の推移

2019年度目標値	実績	判定
2%増に抑える	35.7%増加	×



～結果と次年度の取組み～

産業廃棄物は2018年度を基準年とし、年1%の増加に抑えるよう推移を監視しているが、中国の廃棄プラスチック類輸入全面禁止の影響によりリサイクルに回すことができず、廃棄になってしまったこと、受注の増加が重なり大幅に増加してしまった。

今後は廃棄物が出ない加工法への転換を行い廃棄物の増加率低減を図る。

◆工業用水削減の取組み

工業用水は2019年度を基準年とし、削減に向けて中長期の取組みをおこなう事としました。

「効率的な水の使用」をするための施策を立案し活動して参ります。目標値については今後の推移を見ながら本年度中に決定いたします。

11.環境計画内容及びエネルギー使用合理化



省エネ法に基づき、エネルギー管理統括者、エネルギー管理規格推進者を選任し定期報告書を提出しております。

中期計画書に基づき作成した内容は以下の通りです。

内容	該当する工場	実施時期
1.工場設備の省エネ対応 ◆コンプレッサーのエア漏れ対応による効率化促進	全社対象	2013年～2020年
2.水銀灯の省エネ照明への切替	堀金工場 三田工場 耳納工場	2019年完了
3.蛍光灯のLED化	全社対象	2018年～2022年
3.空調設備交換による削減 ◆空調設備の約3割をインバータタイプに交換	全社対象	2013年～2020年
4.全社的な削減対応 ◆エアコンフィルター及び室外機の定期的清掃の実施 ◆夏季・冬季の温度設定の徹底 (測定室・ワイヤーカット室は除く)	全社対象	2013年～2020年

12.環境保全活動



緑地の増加・環境の維持保全に力をいれて活動しています。
従業員一丸となって、取り組みます！

緑地化



植栽の剪定



緑地保全

Befor



Aftre



除草活動



株式会社 **サンコー**

2020年7月発行

発行部署/お問い合わせ先

総務人事部 総務課

〒399-0782

長野県塩尻市広丘野村959番地

TEL : 0263-52-2918 FAX : 0263-51-1667

URL : <https://www.sko.co.jp>